

# ファイールド風

(現場)からの風

宮田守男

感染者数と重症者数・死亡者の推移に一喜一憂する日が続くが、全国各地の感染者数が何百人を超えようとも、日毎に気にか

なくなってきた感  
情には自分自身驚きを  
覚えてしまう。「65歳  
以上の高齢者」の情報  
は、私を含め6代には  
「私も高齢者」と強く  
印象付けられる。しか  
し来年4月から「70歳  
就業法」が施行され日  
本社会の伝統だった  
「定年で退職する」と  
いう考えが見直され、  
「高齢者」への矛盾し  
た制度設計に疑問を抱  
いてしまう。

間関係の新たな生活様  
式について行けるのか  
不安を抱いてしまう。  
信州大学大学院で教え  
をいただいた下田平さ  
んは、「小さい時から  
バーチャル世界に慣れ  
親しむトレーニングを  
絶え間なく受けさせら

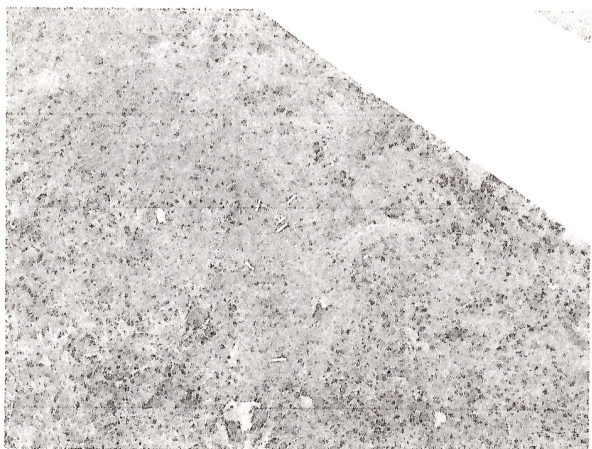
問題提起した。  
今年、ノーベル平和  
賞を受賞した国連の世  
界食糧計画(WFP)。  
世界の飢餓問題に関心  
が高まっている。世界  
銀行は、1日1・9ド  
ル約2000円未満で  
暮らす「極度の貧困層」

ス感染拡大や景気後退  
で、これまでの想定か  
ら1億5000万人上  
振れして、7億357  
0万人までに拡大する  
可能性があると指摘し  
た。  
国連も2030年ま  
でに8億4000万人  
を超えると

## 世界の飢餓問題を認識して 行動する事が求められている

を越えようと  
警告。しか  
し世界各地  
で内戦が勃  
発し続け、異常気象に  
よる洪水でも甚大な作  
物被害が多発、南スー  
ダンではバッタの大群  
が畑を食い荒らす。コ  
ロナ禍による国境封鎖  
で食料供給が絶たれた  
状況が世界各地を窮地  
に追い込んでいる。ま

た価格が高騰し支援も  
停滞、これまで支援し  
ていた国も経済が停滞  
して失業者が相次ぎ、  
「国際連携の必要性が  
今ほど明白な時はな  
い」との受賞理由に、  
一人一人が何か行動を  
起こさなくてはと、真  
剣に考えてほしいと  
思っている。  
(信州地域社会フォー  
ラム会員・白馬村森上)



地域集落内の生活道路に投棄されるタバコの吸い殻、荒んだ心はコロナ禍かと疑ってしまう